

陸軍特別大演習下の

鹿児島県

—— 天皇来県
そのとき鹿児島県民は ——

昭和10年11月8日、鹿児島港に昭和天皇の乗った軍艦比叡が到着しました。現在の鹿児島中央高校に大本営を構えた陸軍特別大演習が行われたのです。この行幸と演習は、当時の人びとにどのようなように映り、何をもたらしたのでしょうか。新聞記事や貴重な写真資料をもとに、今からちょうど90年前の鹿児島の様子をひもときます。



奉迎提灯行列の様子

『昭和十年十一月陸軍特別大演習並地方行幸鹿児島県記録』より



2025年11月9日(日)
13:30~15:30

場所 サンエールかごしま 小研修室1・2

予約不要 入場無料(定員40名)

講師 日向学院高等学校教諭
「鹿児島島の近現代」教育研究センター
客員研究員 竹村茂紀

※ご来場の際は公共交通機関でお越しください。

『昭和十年十一月陸軍特別大演習並地方行幸鹿児島県記録』より

主催／鹿児島大学法文学部附属「鹿児島島の近現代」教育研究センター

お問い合わせ

鹿児島大学法文学部附属「鹿児島島の近現代」教育研究センター
TEL: 099-285-7532 E-mail: kingendaijim@leh.kagoshima-u.ac.jp